

19章 総合問題19

問題

【1】

解答

紙とビニールの買物袋の優劣を論じた新聞記事では、資源消費や固形廃棄物処理による環境への影響という点での、両者よりも有利な選択肢への可能性について言及はなかった。〔80字〕

解説

【構成】：ある新聞の特集記事の内容について

- ①第1段落〔導入〕：論点は買い物袋として紙とビニールのいずれが優れているかについて。
- ②第2段落〔展開〕：ビニール袋の普及により現在両者の使用状況は互角。
- ③第3段落〔結び〕
 - i) 両者の優劣について明確な結論は出ていない。
 - ii) 両者とも資源消費及び固形廃棄物処理の問題を増大させている。
 - iii) 両者より大きな長所をもった別の選択肢への言及がなかった。

【指針】

- ①、②の内容は③のi) に取れんされるので、③全体を簡潔にまとめる。

全訳

地元の地方紙が最近「米国買物袋大競争」という見出しの特集記事を掲載したが、それを記者も編集者もおそらく意図してはいなかったと思われるいくつかの点で興味深く、また滑稽に思った。論点は紙の買い物袋とビニールの買物袋の優劣についてで、なぜ多数の買物客や食料品店主が両者のうちの一方を熱烈に好むのかという理由や、両者の製造業者間における激しい経済競争についても議論されていた。

わずか数年前までは、国中のほとんどの食料品店がきまって買物客が購入した商品を紙袋に詰めていた。80年代初頭には、ビニール袋が場所によっては紙袋の座を奪い始めるようになった。私がこの原稿に着手した頃には、両者は互角に競い合っており、ほぼ同数の紙袋とビニール袋が使用されていた。

私が言及した記事は、どちらの袋が全体としてより優れているのかについてはなんら明確な結論には到達しなかったが、どちらの袋も資源の消費と固形廃棄物の処理という問題を引き起こしていることを明らかにした。両者の差は、環境への影響という点では程度の差に過ぎず、——そして、要は、取るに足らない差である。皮肉なことに、記者も、またその記事に引用された人も誰一人として、どちらの袋よりもはるかに大きな長所を持つもう1つの選択肢もあり得るのではないかということには言及さえしなかった。

注

- ℓ. 1 ◇ run = give (something) in a newspaper, magazine, etc.
- ◇ feature = a special article (in newspapers)
- ◇ headline *v.* = provide with a headline

- < headline *n.* = a head of a newspaper story or article usually printed in large type and giving the gist of the story or article that follows
- ℓ. 2 ◇ find O C 「O が C だとわかる」
 ○ O = which C = both interesting and amusing …
 ◇ way = an aspect or respect
- ℓ. 3 ◇ subject = a topic or theme
 ◇ grocery < grocer = a shopkeeper who sells food and household goods
cf. gross n. = 144; twelve dozen
- ℓ. 4 ◇ vehemently [vɪːəməntli] = forcefully; intensely
 < vehement = passionate; forceful
- ℓ. 5 ◇ one or the other : 2 個の要素の存在を示す。
 ◇ fierce = very severe; intense
- ℓ. 6 ◇ practically all 「ほとんど全ての」
 ○ practically = virtually; almost; substantially
 ◇ routinely 「ごく普通に ; 決まって」
 < routine = a sequence of actions regularly followed
 ◇ stuff *v.* = pack; fill (a receptacle or space) tightly with something
- ℓ. 7 ◇ replace = take the place of
- ℓ. 9 ◇ neck and neck 「互角に」
 ○ In a race or contest, if two competitors are *neck and neck*, they are exactly level with each other, so that it is impossible to say who will win.
 ○ 副詞的に run を修飾 《競馬に起源》
 ◇ with O C 「O を C の状態にして」
 ○ C = in use
 ○ in use = being used
- ℓ. 11 ◇ overall = in all parts; on the whole
 ◇ make (it) clear that …
 ◇ contribute to = help to cause (something)
cf. Smoking contributes to lung cancer. (タバコは肺がんの原因だ。)
- ℓ. 12 ◇ solid = not liquid or fluid
 ◇ disposal = the act of getting rid of something that is no longer wanted or needed
 < dispose of = get rid of
 ◇ in terms of = with regard to; from the point of view of
- ℓ. 13 ◇ one = a difference
 ◇ when you come right down to 「強いて言えば ; つまるところ」
 ○ right = directly
 ◇ it = environmental impact
 ◇ trivial = of small value
- ℓ. 14 ◇ quote = repeat (the words of another person)

◇ hint = suggest indirectly

ℓ. 15 ◇ option = choice

< opt = choose

◇ significant = having an important meaning

【2】

解答

(1) have (2) for (3) an

(4) of (5) ever

解説

(1) 「この2つの巨大火山が噴火したら、すさまじい地震を引き起こし、アメリカ西部は厚い火山灰の下に埋められてしまうだろうと、科学者たちは思っている。」

were they to explode (= if they were to explode) は、仮定法過去形, these supervolcanoes would have set off terrible earthquakes and put the western United States under a thick blanket of ash は、仮定法過去完了形になっている。内容から考えれば、「カリフォルニア州とワイオミング州の地下の休火山が噴火したら」というまだ現実起きていないことに対する仮定であるから、仮定法過去形が妥当。したがって主節から、have を取らなければならない。

(2) 「過去の噴火による火山灰の堆積物が露出していることが示すように、過去 200 万年間において少なくとも 3 回は噴火を起こしている。」

As evidence in uncovered ash deposits from old eruptions shows, の as は関係代名詞で、「～が示すように」が直訳。先行詞は主節の内容。主節 they have done so for at least three times over the past two million years. の,

○ have done so = have set off terrible earthquakes and put the western United States under a thick blanket of ash

○ at least three times は「少なくとも 3 度」の意味。

○ over the past two million years の over は「時間の経過」を表して、「～にわたって」の意味。

したがって、for が不要。

(3) 「研究者たちは、何がこの巨大火山を噴火させるのか、いつ再び噴火する可能性があるのか、どれほどの被害が想定されるのかということについて、情報を熱心に探し求めている。」

information は常に不可算名詞であるから、an が不要。

○ 抽象名詞は、形容詞がつくと可算名詞として扱われることが多い。

cf. have lunch, have a light lunch

○ ただし、形容詞がついても可算化しないものがある。information がその一つであるが、以下のものも覚えておかななくてはならない。

advice 「忠告」 applause 「拍手：(喝采による) 称賛」

conduct 「行い」 damage 「害」 equipment 「設備」

fun 「戯れ」 harm 「害」 homework 「宿題；準備」
 luck 「運」 news 「珍談」 progress 「進歩」
 weather 「天気」 work 「仕事」

※ work が「作品」の意味で用いられる時は、可算名詞である。

○ destructive = causing great and irreparable damage

(4) 「火山灰の堆積物の中で発見された極めて小さな水晶〔結晶〕に焦点を当てた最近の(科学的)分析により、いくつかの解答が挙げられた。」

○ Recent analyses focusing on extremely small crystals found in the ash deposits
 まだが主部。

○ have pointed to ~ 「~を指摘した」

○ 「数量詞 + of」に続くのは、特定のものに限られるので、「the + 名詞」か「代名詞」
 の形にならなくてはならない。

○ しかも、内容から「特定の答えの中のいくつか」というのはおかしい。

したがって、of を取り、some answers とするのが正しい。

(5) 「これらの発見で、科学者たちは、次の大噴火が起こるかなり前にそれを警告する兆候を知ることが可能になるということにさらに確信を深めている。」

ever の根本的な意味は、at any time である。しかし、肯定文における用法は以下
 のような慣用表現に限られる。

○ ever since ~ 「~以来ずっと」

○ ever after ~ 「~以降ずっと」

○ (as) ~ as ever

① 「相変わらず~で」

Ex. He is (as) idle as ever. (彼は相変わらず何もしていない。)

② 「できるだけ」

Ex. Run as fast as ever you can. (できるだけ速く走れ。)

以上より、ever が不要と考える。

全訳

カリフォルニア州とワイオミング州の地下深くに、2つの巨大ではあるが休火山が存在する。(1) この2つの巨大火山が噴火すれば、すさまじい地震を引き起こし、アメリカ西部は厚い火山灰の下に埋められてしまうだろうと、科学者たちは思っている。(2) 過去の噴火による火山灰の堆積物〔堆積物である火山灰〕が露出していることが示すように、過去200万年間において少なくとも3回は噴火を起こしている。(3) 研究者たちは、何がこの巨大火山を噴火させるのか、いつ再び噴火する可能性があるのか、どれほどの被害が想定されるのかということに関する情報を熱心に探し求めている。(4) 火山灰の堆積物の中で発見された極めて小さな水晶〔結晶〕に焦点を当てた最近の(科学的)分析により、いくつかの解答が挙げられた。(5) これらの発見で、科学者たちは、次の大噴火が起こるかなり前に、それを警告する兆候を見ることが可能になるということにさらに確信を深めている。

【3】

解答

「全訳」下線部参照。

全訳

歴史上の出来事と歴史家との間には常に相互の働きかけがある。歴史家はこうした出来事に対してある種の合理的な型にはめ込もうとする。すなわち、いかにしてそれらは起こったのかということ、そしてさらにはなぜそれらは起こったのかということの説明しようとするのだ。陪審員団の場合に義務であると考えられているのとは異なり、いかなる先入観にも囚われないで仕事を始める歴史家など一人としていない。歴史家は、子供のような純粹さを持って文献に向かい、文献が自ずから歴史家自身に結論を述べて書き取らせるまで忍耐強く待つ、というようなことはしない。まったくその反対である。

注

- ℓ. 1 ◇ the historian 「歴史家」
○ the : 総称を表す。
◇ interplay = the way in which things interact 「相互作用」
◇ The historian tries to impose on these events some kind of rational pattern: how they happened and even why they happened
○ impose [on these events] some kind of rational pattern
○
○ impose A on B (BにAを押し付ける [強いる]) のAの部分が新情報として、後ろに移された形。
cf. Enormous pressures are *imposed upon* students by this entrance examination reform.
(今回の入試改革で、学生たちには大変な負担がかかっている。)
- ℓ. 2 ◇ rational = based on reason 「合理的な」
- ℓ. 3 ◇ No historian starts with a blank mind as a jury is supposed to do
○ no は語修飾の文否定
○ blank = having no prejudice
○ as 《接続詞》
○ 「～のように」の意味だが、文否定の no があるので「～とは違って」「～のようには」と訳出するとよい。
◇ jury = a group of people who have to attend a legal case and give a verdict on the basis of evidence given in court 「陪審, 陪審員団」
◇ be supposed to ... = have a duty or responsibility to ... 「... することになっている」
- ℓ. 4 ◇ not : 文全体を否定している。
◇ document = an official or formal paper, form, book, etc giving information or evidence
※ ここでは、歴史家が主語なので「文献」。
◇ childlike = having the good qualities, such as innocence, associated with a child
cf. *childish* = like a child; silly and immature

- ℓ. 5 ◇ dictate = say (words) for someone else to write down 「～を書き取らせる」
 cf. *dictation* (口述筆記；書き取り)

【4】

解答

- (1) 「全訳」の下線部参照。
 (2) 通常は無口で聞き役に回っていたり、声に挑戦的な響きが含まれていたから。[35字]
 (3) ①, ②, ④
 (4) assembled

解説

- (1) ○ domesticate ~ = tame ~ < domestic = of the home 「家庭の」
 ○ an enemy (that) they can never even have seen ~
 < cannot have done 「～したはずがない」
 ○ their natural enemy と同格。説明を付加。
 (2) ○ ℓ. 11 For this latter reason, as well as for ~ に注目する。
 ○ for ~ 「～の(理由の)ために」
 ○ this latter reason は、具体的にはℓ. 10 generally uncommunicative … the talk to others の部分を指す。
 (4) break up = divide into smaller parts 「砕け尽くす」ここでは会合なので「解散」の意味。

全訳

彼らは1日中狩猟をしていた。天気は申し分なかったので夕食後に喫煙室に集まった時、彼らは充足感に浸っていた。昼間の狩猟や天気の見通しについて話し合うことから、会話は他の話題へと移っていった。彼らの中でリーダー的存在のローソンはあらゆる動物がその天敵に対して抱く本能的な認識能力に触れて、自分でも試したいいくつかの実例を示した——飼い馴らされたネズミにフェレット、また鳥に蛇など。

「何世代にも渡って飼い馴らされた後でさえ、彼らはその天敵を即座に本能によって認識する。以前に1度として見たことすらないはずの敵をである。」と彼は言った。

「いかにも。」と隅の椅子から声が上がった。「そしてまた我々もそうだ。」

その声の主はエリクセンであった。彼らの接待役であり、卓越した狩猟家でもある彼は、通常は無口だが聞き上手で、談話の進行を他の者たちに委ねていた。この後者の理由で、また彼の声の挑発的な響きのために、彼の突然の発言は皆の注目を集めた。

「『また我々もそうである』とは、一体どういう意味なんだ。」と3人が一斉に尋ねた。それは、彼にその発言を詳述するつもりがあるのかどうかを確かめようと、しばらく間を置いた後のことであった。そして彼には明らかにそのつもりはなかった。

「我々が動物界に属していることは言うまでもない。」と4人目が言葉を差し挟んだ。そのエリクセンの挑発的な響きの背後には明らかに何らかの真意が潜んでいたからである。もっともそれを彼から引き出すのは難しそうであったけれども。そしてそれは実際にその通りであった。

エリクセンは一瞬上体を前に屈め、このためにその力強くおどけた顔が鮮明な光の中に入ったが、今や再び椅子の中へと体を沈め、その表情は彼のかたわらの、赤色の電灯の笠に隠された。光が悪さをし、そのおどけて柔和とも言うべき顔のしわを消し、その一方で顎と鼻の部分の力強さを強調した。その赤色の光が顔全体にどちらかと言えば険しい表情を与えた。

ローソンがその短い沈黙を破った。

「まったく君の言う通りだ。」とローソンが述べた。「だが、どうして君にそれがわかるんだ？」—— というのも、ジョン・エリクセンは確かな根拠もなく断定的な発言をすることなど決してなかったからである。その確かな根拠には本人自らが直接検証した証拠、しかしエリクセンが不特定多数の前では決して語ろうとはしないであろう経緯が含まれているとローソンは確信していた。しかしながらエリクセンは後で、他の者が皆いなくなってしまうばそれを語るであろう。「本能的な敵意というようなものが存在するのは確かだ。」とローソンは笑いながら周囲を見回して言った。「君が言いたいのはそういうことだろう。」

「言ったとおりの意味だ。一目で生じる愛がある。一目で生じる憎悪もある。」とその接待役は無愛想に答えた。

「憎悪とは激しい言葉だ。」とローソンが言った。

「愛もそうだ。」と別の1人が言葉を差し挟んだ。

「憎悪の方が激しいぞ。」とエリクセンが陰気に言った。「動物界においては、少なくとも。」とエリクセンは何かをほのめかすようにして付け加え、そうしてその後は一晩中、酒をすする時以外には口を開かなかった—— 集まりがついに解散し、共に長い年月に渡って信頼し合っているローソンともう1人を残した。

注

- ℓ. 2 ◇ assemble = gather together
cf. *assembly plant* (組み立て工場)
- ℓ. 3 ◇ outlook = future prospects < look out 「見張る」
◇ drift = wander; ramble; rove 「さまよう；漂流する」
cf. *continental drift* (大陸移動説)
- ℓ. 4 ◇ the instinctive recognition (that) all animals feel ...
- ℓ. 5 ◇ which : 先行詞は several instances。
◇ tame = domesticated; not wild or fierce
- ℓ. 6 ◇ ferret 「フェレット」
◇ and so forth = and so on; et cetera
< forth = forward
- ℓ. 10 ◇ before the Lord
○ (the) Lord = God; Christ
- ℓ. 11 ◇ leave A to B = give A to B 「A を B に任せる [委ねる]」
◇ the latter ⇔ the former
○ 後者 : uncommunicative but ... / 前者 : a great hunter
- ℓ. 12 ◇ note = tone of speaking 「口調；音調」

- 原義は「印」 (= mark)。
- ◇ abrupt = sudden and unexpected 「いきなりの」
 < ab-[= away] + rupt[= break] 「引き裂く」
- ℓ. 14 ◇ mean to ... = intend to ...
 - ◇ elaborate (on something) = explain (something) in detail 「(～を) 詳述する」
 < ex-[= out] + labor 「苦勞して作り出す」
 - ◇ which he evidently did not = and he evidently did not mean to elaborate
- ℓ. 15 ◇ kingdom = any one of the three divisions of natural world 「界」
 - animal kingdom で「動物界」
 - 第1義は「王領」 (= king + dom)。
 - ◇ put in = interrupt; add words to a conversation
 - ◇ a fourth 「不特定の4番目」
cf. a second = another
- ℓ. 16 ◇ there lay a story ≡ there was a story < lie
 - ◇ drag ~ = pull ~ with difficulty
cf. *drag* bunt (ドラッグバント = バットを引くようにして軽く球に当てて, (左打者なら一塁側へ, 右打者なら三塁側へ) 打球を転がすバント) ⇔ push bunt (右打者が1塁方向に押し出すバント)
 - ◇ It was (difficult to drag (it) out of him).
 ○ 1番目の it (形式主語) = to drag (it) out of him / 2番目の it (代名詞) = a story
- ℓ. 17 ◇ lean = bend
- ℓ. 18 ◇ his expression concealed by ~
 - 独立分詞構文
 - expression = a look on a person's face
 - conceal = hide
- ℓ. 19 ◇ tender = kind
 - 原義は「柔らかい」 (= soft)。
- ℓ. 20 ◇ glare *n.* = strong light
 - cf.* *glare v.* = look fiercely (眼光鋭く睨みつける)
 - ◇ lend A to B = add A to B 「A を B に加える」
 ○ A = a rather grim expression B = the whole
- ℓ. 21 ◇ grim = not cheerful; serious and unsmiling
- ℓ. 22 ◇ pause = temporary stop; silence 「一時停止 ; 沈黙」
- ℓ. 23 ◇ dead = completely; absolutely; thoroughly
 - ◇ observe = say; remark; comment 「(観察結果を) 述べる」
- ℓ. 24 ◇ positive = definite; showing confidence
 - ◇ feel sure
 - sure 《副詞》

- ℓ. 25 ◇ personal = done or made in person 「本人直々の」
 ◇ a story
 ○ a personal proof の同格語句 (= appositive)。
 ◇ general audience 「漠然とした特定されない聴衆」
- ℓ. 27 ◇ antipathy = strong dislike; hostility
 < anti-[= against] + pathy[= feelings] 「反感」
cf. sympathy
- ℓ. 29 ◇ bluntly < blunt = direct; not trying to be polite
 「無遠慮な：相手の感情を慮らない」
 ○ 原義は「鈍い (= dull), 繊細さを欠く (= insensitive)」。
- ℓ. 33 ◇ hate's strongest
 ○ 2 者の比較に最上級を用いている。文法的には破格, または口語の用法。
- ℓ. 34 ◇ suggestively < suggest ~ = imply ~ 「~を含意する [暗示する]」
 ◇ sip = drink
 ◇ liquor = alcohol; spirits
- ℓ. 35 ◇ at length = at last; eventually 「(長時間かかって) ついに」
 ◇ both (being) old trusted friends …
 ○ 独立分詞構文と見なしてもよい。
 ○ old = known for a long time
- ℓ. 36 ◇ standing *n.* = time during which something has existed; duration

【5】

解答

- (1) 「全訳」の下線部㉑を参照。
 (2) warned
 (3) 「全訳」の下線部㉒を参照。

解説

- (1) ○ yearning for submission (to power) と考える。
 ○ ℓ. 2 に such lust for power とあることからわかる。
 ○ submission = acceptance of another's power or authority
- (2) ○ Nietzsche had disturbed the complacent optimism of the nineteenth century;
 ↓
 ○ so had Marx in a different way.
 (= and Marx had disturbed the complacent optimism of the nineteenth century in a different way, too.)
 ↓
 ○ Another warning had come somewhat later from Freud.
 ※ Another があるので, warning に対応する語句はすでに出ていることになる。
 以上の流れより disturbed = warned である。この手の問題では disturbed の文脈上

の意味を問うているのであるから、活用上全く同質の動詞でなくてもかまわない。したがって disturb と warn の取りうる文型が全く同じでなくてもかまわない。

- (3) ○ not only A ; also B = not only A but also B

※ ; は but の代用。

○ uncover = make known; disclose

○ nature = the basic or inherent features, character or qualities of something

○ which : 先行詞は the irrational and unconscious sector of man's nature.

○ the existence of which が had been neglected の主語。

全訳

ファシズムが権力を握った時、一般大衆は理論の上でも、また実生活の上でも、それに対する心構えができていなかった。一般大衆は人間がかくも悪事に手を染めやすく、かくも権力を渴望し、かくも弱者の権利を踏みにじり、かくも④権力に屈服することを切望してしまう傾向を見せ得るのを信じるができなかった。一握りの者だけが、その噴火に先立つ火山の地鳴りに気付いていた。ニーチェは19世紀の、現状に甘んじた〔自己満足の〕楽観主義に警鐘を鳴らしていた。マルクスもやり方こそ違えど、同様のことを行っていた。もう一つの警鐘は、それよりも少し遅れてフロイトによって鳴らされていた。確かに、彼と彼の信奉者たちの大半は、社会で起こっていることに関して単純極まりない観念しか持っていなかったし、また彼が行った心理学の社会問題への適用は大半が解釈を誤ったものであった。しかしそれにもかかわらず、自分の関心を個人の情緒及び精神障害〔精神不安〕の現象に向けることによって、彼は我々をその火山の頂にまで導き、その煮え立つ噴火口を覗かせてくれた。

フロイトは、人間の行動の各部分決定する、非理性的で無意識の力を観察し、分析することに注目したという点で、彼以前に存在した誰よりも進んだ考えを持っていた。⑤彼とその現代心理学における信奉者たちは、その存在が現代の合理主義によって見過ごされてきた、人間性の中の不合理で無意識の領域を明らかにしたのみならず、こうした不合理な現象はある種の法則に従い、それゆえ合理的に理解され得るのだということをも示したのだ。

注

ℓ. 2 ◇ exhibit = show; display

ℓ. 3 ◇ lust = passionate desire

◇ disregard = the action of disregarding

< disregard = pay no attention to

◇ yearn for = desire strongly

◇ submission = acceptance of another's power or authority

< submit = give way; yield

ℓ. 4 ◇ rumble = make a deep low continuous sound (as of thunder)

※ ここでは、比喩的な意味で用いられている。

◇ volcano 「火山 → 火山を思わせる今にも爆発しそうな情勢 (= a state or situation which is liable to erupt into anger or violence)」

◇ precede = happen before in time or order

- ◇ outbreak = a sudden or violent occurrence of war, disease, etc.
- ◇ (Friedrich) Nietzsche 「(フリードリヒ・) ニーチェ」 (1844-1900)
- ℓ. 5 ◇ complacent = satisfied with *oneself*
- ◇ so = disturbed the complacent optimism of the nineteenth century
- ◇ (Karl) Marx 「(カール・) マルクス (1818-1883)」 ドイツの経済学者・哲学者・革命家 (1818 ~1883)
- ℓ. 6 ◇ somewhat = to some degree
- ◇ (Sigmund) Freud 「(ジークムント・) フロイト」 精神分析学の創始者 (1856-1939)。
- ◇ To be sure ..., yet ~. = It is true ... but ~. 「なるほど…だが～」
- ℓ. 7 ◇ disciple = a follower or a pupil of a religious, political leader or teacher 「信奉者」
cf. *discipline* (訓練；しつけ；統制)
- ◇ naïve = lacking experience, wisdom, judgment or sophistication 「単純な；だまされやすい」
- ◇ application of A to B < apply A to B
- apply A to B = put A onto B 「A を B に適用〔応用〕させる」
- ℓ. 8 ◇ construction = an interpretation or explanation
< construe = interpret in a particular way
- ℓ. 9 ◇ emotional = relating to the emotions
< emotion = an instinctive feeling as distinguished from reasoning
- ◇ mental = relating to the minds
< mind = the faculty of consciousness and thought; that part of a person that thinks, feels and wills (contrasted with the body)
※ mind は、日本語の「精神」とは全く対応しない点に注意。
- ◇ disturbance = trouble; a state in which normal mental or physical functioning is disturbed
- ℓ. 12 ◇ irrational = without the power of reasoning

【6】

解答

- (1) **b** (2) **b** (3) **c** (4) **b**
 (5) **d** (6) **a** (7) **d** (8) **c**

Script

🎧 **CD 1 16 ~ 18**

M : So, could you explain to me exactly what happened? Here, let me get you a cup of coffee. Just relax and tell me what happened.

W : Thank you, officer, but really, I'm not upset. Just a little angry. I had just cashed my pay check an hour earlier.

5 M : Oh, well, I can understand why you might be upset, but if you can relax a bit and just tell me clearly what happened and what you saw, we'll see if we can identify who grabbed your purse.

W : Well, let's see. I got off work at five. I usually don't leave right away, but I had an appointment at the University Hospital.

10 M : I see.

W : I took a cab to the hospital and finished with the doctor just before seven. Then I was walking down Madison Avenue with my envelope full of X-rays under my arm when....

M : X-rays?

15 W : Yes, I asked the doctor to give them to me so I could take them to my local doctor for a second opinion.

M : A second opinion. I see. Sounds serious. I don't mean to be rude, but could you tell me what it is?

W : Oh, they want to do an operation on my heart, but I can't believe it's necessary, so I
20 want a second opinion. Anyway, I feel fine, so you needn't worry.

M : You're not on medication or anything?

W : No, really. Just let me tell you how I got robbed before I forget it.

M : Certainly, ma'am.

W : As I was saying, I was just walking down the street when two boys, teenage boys....
25 maybe no more than fourteen or fifteen, well, one of them came running from the side street and knocked into me. I thought he wasn't looking and had just knocked into me by accident. Then suddenly I realized my bag, which I was carrying on the other side, was gone.

M : How did you realize it was gone?

30 W : Oh, it happened very quickly. I guess I just felt the weight of the bag missing and

when I turned around I saw this kid running away with it. Then I saw his partner follow him.

M : His partner? Was that the one who bumped into you?

W : Yes, of course.

35 M : Did anyone else see it happen, as far as you know?

W : Yes, when I was running after them a couple of waiters who were having a smoke outside a restaurant saw us and ran after the boys to try to catch them.

M : You ran after them? You shouldn't have done that. Some of these punks nowadays are pretty crazy. They might've been high on some kind of drug and shot you or
40 something.

W : I realize that now, but all I could think about at the time was the fact that two weeks' pay and my jewelry were in the bag. You see, when I took the X-rays they had me take off my engagement ring and the gold chain my mother had given me. I was furious at the time. They were lucky I didn't catch them.

45 M : How about the other men — the, uh, waiters?

W : They didn't catch the thieves, but they helped me pick up the stuff they threw away while they were escaping. I got my passport and driver's licence back. But they kept the money and the jewelry.

M : I see. It sounds like the thieves were experienced. They threw away the stuff that
50 was important to you but they couldn't use in order to slow you down. We might have some records on them if they've been caught before. If you don't mind, let's go downstairs and check with the records department.

W : All right, but is there any way I could get something to eat around here? I haven't eaten since lunchtime and it's almost eight. [648 words]

M: では、起きたことを正確に説明していただけますか？ さあ、コーヒーをどうぞ。気を落ち着けて、何が起きたのか話して下さい。

W: ありがとうございます、おまわりさん。でも、実を言うと私は取り乱してはいません。ちょっと腹が立っているだけです。1時間前に給与小切手を現金に換えたばかりだったのです。

M: ええ、お気持ちはわかりますが、少し落ち着いて、起きたこと、見たことを正確に話してさえいただければ、あなたの鞆をひったくったのが誰なのかを調べてみましょう。

W: ええと、私は5時に仕事を終えました。普段はすぐには帰らないのですが、大学病院での予約があったのです。

M: なるほど。

W: タクシーで病院に行って、7時ちょっと前に診察を終えました。それから、X線写真のいっばい入った封筒を脇の下に抱えて、マディソン通りを歩いていた時に…。

M: X線写真？

W: ええ、地元の医師にも意見を伺おうと思って、それを持って帰らせてくれるように医師に頼んだのです。

M: セカンドオピニオンですか。ほう。深刻そうですね。失礼なことをお聞きするつもりはないのですが、何が問題なのか教えていただけますか？

W: ええ、その病院は私に心臓の手術を受けさせようとしているのですが、私にはそれが必要だとは思えないので、別の医師の意見を聞きたいのです。とにかく、大丈夫ですからご心配なく。

M: 薬物治療か何か受けていないのですか？

W: 受けていません。本当です。忘れないうちに、どのように鞆をひったくられたかお話しします。

M: どうぞ。

W: さっきお話ししたように、道を歩いていたら、2人の少年——10代の子で、せいぜい14か15くらいだと思いますが——そのうちの1人が脇道から飛び出してきて、私にぶつかってきたのです。その子が回りをよく見ていなくて偶然ぶつかっただけだと思ったのです。その後すぐに、私の鞆が——反対側に持っていたのですが——なくなっていることに気付いたのです。

M: どのようにしてなくなっていることに気付いたのですか？

W: それはあっという間に起こりましたの。たしか、鞆の重みがなくなっているのを感じて振り返ってみると、その子が鞆を持って走り去っていたのです。それから、もう1人の仲間が彼の後を追って行くのが見えました。

M: 仲間？ あなたにぶつかった方ですか？

W: ええ、もちろん。

M: 覚えている範囲で、他に誰かそれを見た人はいますか？

W: ええ、私が彼らを追いかけていた時、レストランの外でタバコを吸っていた2人のウェイターが私たちを見かけて、2人の少年を捕まえようとして追いかけてくれました。

M: あなたは彼らを追いかけたのですか? そんなことをするべきではなかったのに。今時のそういう若造の中にはかなりまともでない人たちがいます。何かドラッグで興奮状態に陥っていて、あなたを撃っていたり何かしていたかもしれないですよ。

W: 今はそう思いますけど、その時は2週間分の給料とジュエリーが鞆の中に入っているということしか頭になかったのです。ほら、X線写真を撮る時に、婚約指輪と母がくれた金のネックレスを外すように言われたので。その時は本当に腹が立っていました。私に捕まらなくてあの子たちは運がよかったですよ。

M: 他の男性たち—— ええと、ウェイターたちはどうしました?

W: 泥棒たちは捕まえられませんでしたけど、彼らが逃げる時に捨てていった物を拾うのを手伝ってくれました。パスポートと運転免許証は取り戻しました。でも、お金とジュエリーは持っていかれました。

M: わかりました。常習犯のひったくりのようですね。あなたにとっては重要だけど自分たちには使えないものは捨てて、あなたに追いつかれないようにしたのですね。過去に逮捕されたことがあれば、記録が残っているかもしれません。もしよろしければ、一緒に下に行って記録課に問い合わせてみましょう。

W: わかりました。でも、どうにかしてこの辺で何か食べることはできませんか? お昼から何も食べていなくて、もうすぐ8時ですから。

注

- ℓ. 1 ◇ So, 「それでは」 話の本題に入る時, 脱線した話題をもとに戻す時などに用いる。
◇ let me get you ~ 「~を (持ってきて) あげましょう」
- ℓ. 3 ◇ officer 「警官; おまわりさん (呼びかけにも用いる)」
◇ cash ~ 「~を現金に換える」
- ℓ. 4 ◇ pay check 「給料 (支払) 小切手」
- ℓ. 6 ◇ we'll see if we can … 「…できるかどうか見てみましょう」
◇ identify ~ 「~を特定する」
- ℓ. 7 ◇ grab ~ 「~をひったくる」
- ℓ. 8 ◇ let's see = let me see
◇ get off work 「仕事を終える」
◇ right away 「すぐに」
- ℓ. 11 ◇ cab = taxi
- ℓ. 12 ◇ with ~ under *one's* arm 「~を小脇に抱えて」
- ℓ. 16 ◇ second opinion 「セカンドオピニオン」ここでは「主治医以外の医者意見」のこと。
- ℓ. 17 ◇ I don't mean to be rude 「失礼なことを言うつもりはないが」
- ℓ. 19 ◇ do an operation on ~ 「~の手術をする」
- ℓ. 21 ◇ be on medication 「薬物治療をしている」
- ℓ. 22 ◇ let me tell you ~ 「~をお話ししましょう」
◇ get robbed 「(物を) 盗まれる」
- ℓ. 25 ◇ no more than fourteen or fifteen 「せいぜい 14, 15 歳の」
- ℓ. 26 ◇ knock into ~ 「~にぶつかる」

- ℓ. 27 ◇ by accident 「偶然に」
- ℓ. 28 ◇ be gone 「なくなる」
- ℓ. 31 ◇ turn around 「振り返る」
- ℓ. 33 ◇ bump into ~ 「～にぶつかる」
- ℓ. 35 ◇ as far as you know 「あなたのわかる範囲で」
- ℓ. 36 ◇ a couple of ~ 「2人の～」
◇ have a smoke 「タバコを吸う」
- ℓ. 39 ◇ might've done 「…したかもしれない」
○ここでは「実際にはしなかったが…していたかもしれない」というニュアンス。
◇ be high on ~ 「～（麻薬・酒など）で酔った」
- ℓ. 41 ◇ all I could think about at the time was the fact that … 「その時私が考えることができたすべてのことは…という事実だけだった → その時は…ということしか考えられなかった」
- ℓ. 42 ◇ have ~ take off … 「～に…を外させる」
- ℓ. 44 ◇ furious 「ひどく立腹した」
- ℓ. 46 ◇ stuff 「もの」
- ℓ. 47 ◇ get ~ back 「～を取り戻す」
- ℓ. 49 ◇ It sounds like ~ 「～みたいです」
◇ experienced 「常習の；経験豊かな」
◇ the stuff that was important to you but they couldn't use 「あなたにとっては重要だが彼らには使えないもの」
○この部分全体が throw away の目的語。
- ℓ. 50 ◇ slow ~ down 「～のスピードを落とさせる」
○ここでは「追いつかれないようにする」ということ。
- ℓ. 51 ◇ records on ~ 「～に関する記録」
◇ if you don't mind 「もしよろしければ」
- ℓ. 52 ◇ check with ~ 「～に問い合わせる」
◇ records department 「記録課」
- ℓ. 53 ◇ is there any way I could …? 「(何とかして) …できる方法はありませんか？」

【7】

解答

- (1) e (2) c (3) b (4) e (5) b

解説

- (1) 校長先生が話を終えた後の動作として、ℓ. 18に He shot down the steps, glided quickly down the hall and was gone. とあるので、eが正解。
- (2) ℓ. 16～17に if any of you know what happened last night, then it is your duty to come and tell me. とある。したがって、正解はc。
- (3) ℓ. 9～10の The already overworked fire brigade had to deal, last night, with a

stupid prank から、前日の事件が火事であることがわかる。b が正解。

- (4) l. 23 から、校長先生の話の後、授業が行われていたことがわかる。そして、l. 24 で nothing happened until dinner time とあるので、dinner time まで授業が行われていたことが読み取れる。l. 10 の your house は「家」ではなく「寮」のことなので、dinner は「夕食」。したがって、e が正解。
- (5) 最初、フラー先生に What happened last night? (l. 31 ~ 32) と聞かれて、Nothing. I stayed in. (l. 33) と答えている。しかし、l. 40 ~ 41 に It was difficult to lie to Mr. Fuller, and he knew he couldn't go on much longer. とあり、その後、フラー先生に促されて、l. 44 の It wasn't my fault. It was an accident. 以降で、真相を話すことになる。したがって、b が正解。

全訳

彼らはすし詰めに使われていた。もし1人が気を失ったら、気を失う者がもっとたくさん出るだろう、ということを知っていた。

校長先生が、決然とした態度で壇上に上がり、生徒たちの方を向くと、彼らの見上げた顔を見渡した。彼の頭は、自動車の後部座席に置いてある犬のおもちゃのように、前後左右にくると動いた。ふと、彼は動きを止めた。

「きっと」彼は静かな口調で話し始めた。「ここにいる諸君の多くは、昨夜の火事のことを聞いているでしょう。」あたかも誰かがここで何かを話すことになっているかのように彼は間を置いた。テリーは、前に立っている長身の男子生徒の頭で校長先生の姿が遮られるように、少し右に動いた。「消防団の方たちは、これまでに過度の労働を強いられていますが、昨晚、くだらぬ悪ふざけの処理をしなければならなかったのです。諸君の寮が、」校長先生は声を張り上げた。「諸君の寮が、ひょっとしたら火事になっていたかもしれません。それにもかかわらず、消防団の方たちはくだらぬ悪ふざけの後始末をするために、出勤させられたのです。」

ホーリス先生も壇上に上がっていたのだが、ゆっくりと首を横に振った。

「そこで、私が願っているのは」穏やかな口調で、校長は話し続けた。「私が本当に願っているのは、我が校の生徒の中にとがめられるべき者は誰もいないということです。しかし、私にはちゃんとわかっています。」声が大きくなった。「もしこの学校の誰か、この学校の誰かだったとしたら、その時は話を聞かなければならないということ。もし諸君…」彼の体が震えた。「もし諸君の中に、昨夜何があったか知っている者がいたら、私のところに来て話すこと、それが諸君の義務です。もしそうしないのであれば、我が校に対する義務を果たしていないことになるのです。ありがとう。ホーリス先生。」校長先生は足早に階段を駆け下り、講堂を素早く滑り抜けるように走って、姿を消してしまった。

テリーは、休み時間にスパイダーに会った。

「君は罰を受けることになる。今に見てろ。」とスパイダーは言った。

「僕のせいではない。君が僕を閉じ込めるべきではなかったんだ。」

「思い知るぞ。」

誰かが先生にメモを回して、授業が中断されるたびに、テリーの心臓は止まりそうになった。しかし、夕食の時間までは何事もなかった。

テリーは、ジュリーと校庭に座っていた。2人は、大して言葉を交わさなかった。

「フラー先生が今すぐに来なさいって。」第6学年の男子生徒が言った。「図書館の奥の部屋にいるよ。」

テリーは、校舎のところまで歩いて行った。彼の頭は混乱して、身体が火照るのを感じた。図書室の奥の部屋は小部屋になっていて、フラー先生はそこを自分のオフィスと呼んでいた。

「やあ、テリー、座りなさい。君と話したいことがある。」彼は笑顔で言った。「なあ、聞いてくれ。先生は、ある話を小耳に挟んだが、しかしね、私がさらに進んで考える前に、君からそれについて聞いておきたいのだ。昨夜、何があったんだ？」

「何も。僕は寮にいました。」とテリーは言った。

「一晩中か。」

「そうです。」

「絶対にそう言い切れるのか？ 先生は、確実に知っておかなければならないからな。」

彼（フラー先生）はタバコに火を点けて、両足をテーブルに乗せた。「テリー、私はね、やっかいごとを探しているわけではないんだよ。できることなら、君の手助けをしたいと思っている。しかし、君は私が何を言っているのかわかっていると思う。それに、もし噂が広まったら、大変なことになるんだよ。」

「ほんの少し、出かけたかもしれません。」テリーが言った。フラー先生に嘘をつくのは困難なことであった。また、これ以上続けられないとわかっていた。

「さあ、テリー。君がどこに行ったのかは知っているよ。何があったんだ？」

真実を語るべき時がやって来た。

「僕のせいじゃない。事故だったのです。」

「わかった。最初から話してごらん。」

「誰が言いつけたのですか？」

フラー先生は、額をこすった。

「それは重要なことではないよね。」先生は言った。「問題になっているのは君なんだよ。」

「スパイダーですか？」

「スパイダーって、誰だ？」

「フェリ…」テリーは既に愚かな間違いを犯していた。「あいつらが、坂の小屋に僕を閉じ込めた。それで、仕返しに、あいつらを閉じ込めようと企んでいただけなのです。」

彼は話をしたが、誰の名前も挙げなかった。話し終えると、紙にいたずら書きをしていたフラー先生は、両足を振り動かすようにしてテーブルから床に降ろした。

「よろしい。」先生は言った。「事故だった。それはわかる。しかし、行って話さなければならぬ。それに、そこにいた全員と一緒に行かなければならぬぞ。」

「あいつらは行こうとはしないでしょう。」

「もし私が話をしたらどうだ。」

テリーは何も言わなかった。

「よし、わかった、テリー。でも君は1人でやらなければいけない。ハワース先生のところに行って話をするんだ。先生は、君に他に誰が関わっていたのかを知りたがるだろう。今すぐ行きなさい。呼ばれるのを、待っていてはいけない。」

フラー先生は立ち上がって、ため息をつき、本棚を見渡した。テリーは出て行った。

注

- ℓ. 1 ◇ crammed in like sardines = packed (in together) like sardines; pressed tightly together in a way that is uncomfortable or unpleasant 「すし詰めになって」
 ◇ if one person fainted, there would be more (persons who fainted)
 ○ faint = lose consciousness
- ℓ. 3 ◇ headmaster = a man who is the head teacher of a school
cf. headmistress (女性の校長先生)
 ◇ purposefully 「目的をもって；断固として」 < purposeful = showing that you know what you want to do
 ◇ look out over ~ 「~をはるかに見渡す」
- ℓ. 4 ◇ roll = move or go in some direction by turning on an axis
- ℓ. 5 ◇ still = not moving
- ℓ. 7 ◇ pause[pó:z] = stop talking or doing something for a short time before continuing
 ◇ be supposed to do = be expected or required to do something according to a rule, a custom, an arrangement, etc.
- ℓ. 8 ◇ slightly = a little
 ◇ block = shut out from view
- ℓ. 9 ◇ fire brigade = a fire service; a fire department; an organization of people who are trained and employed to put out fires and to rescue people from fires
- ℓ. 10 ◇ prank = a piece of mischief
 ◇ your house = 「寮」
 ◇ his voice was raised
 ○ raise = increase the amount or level of something
cf. I've never heard my husband even raise his voice.
 ◇ your house could have been on fire : 仮定法過去完了。
 ◇ yet = nevertheless
- ℓ. 11 ◇ call out = ask or order a person or organization to help, especially with a difficult or dangerous situation
- ℓ. 13 ◇ soft = quiet and often pleasant to listen to
- ℓ. 15 ◇ I shall : I や we と共に用いて, 話し手の決意や強い意志を表す。
cf. I shall go to Osaka, rain or shine.
 (天候にかかわらず, 私は絶対に大阪に行く。)
- ℓ. 18 ◇ He shot down the steps, glided quickly down the hall and was gone
 ○ shoot = move quickly in a particular direction
 ○ glide = move smoothly and quietly, as if no effort is being made
- ℓ. 19 ◇ at break = at rest time
- ℓ. 20 ◇ pay for = suffer or be punished for your beliefs or actions
- ℓ. 21 ◇ shouldn't have done 「…すべきではなかったのに (した)」
 ◇ lock (a person) in = put a person, etc. in a room of which the door is locked on

- the outside
- ℓ. 24 ◇ dinner = the main meal of the day, eaten either in the middle of the day or in the evening
- ℓ. 26 ◇ the sixth form = a form in a secondary school for pupils over 16 「第6学年」
○ 16歳以上の学生から成る中等学校の最上学年で、通例2年間にわたる。
- ℓ. 28 ◇ His head whirled and he felt hot
○ whirl = swing round and round; revolve rapidly
○ hot = angry or upset
- ℓ. 29 ◇ cupboard [kʌbəd] = a small room (or recess) or cabinet used for storage space
- ℓ. 30 ◇ Now listen: used when you want someone to pay attention to you because you are going to say something important
- ℓ. 31 ◇ take = treat, deal with, or regard in a specified way
◇ further = to a greater extent; more
- ℓ. 33 ◇ stay in = remain at home and do not go out (during the evening)
- ℓ. 36 ◇ absolutely = completely; utterly
- ℓ. 40 ◇ may have done 「…したかもしれない」
- ℓ. 41 ◇ go on = continue
- ℓ. 47 ◇ rub = move (one thing) up and down or backwards and forwards over the surface of another
◇ forehead = the part of the face above the eyebrows 「額」
- ℓ. 48 ◇ in trouble = in a situation in which *one* is likely to be punished or blamed
- ℓ. 52 ◇ all I was going to do was lock them in to get my own back
○ all I was going to do = the only thing I was going to do
○ get *one's* own back 「仕返しをする」
- ℓ. 54 ◇ doodle = draw lines, shapes, etc., especially when you are bored or thinking about something else
◇ swing = move or make something move with a wide curved movement
- ℓ. 57 ◇ They wouldn't go. : 仮定法過去。
○ If I talked to them を補って、「(自分が話したとしても) 行こうとはしないでしょう。」と考える。
- ℓ. 58 ◇ Would they (go) if I talked to them?
- ℓ. 60 ◇ on *one's* own = alone; without help
- ℓ. 61 ◇ send for = order, request, or command to come

添削課題

解答例

I was sitting near the door, reading a magazine. I usually don't fall asleep on trains, but I was suffering from jet lag and I nodded off. When I woke up, I didn't know where I was. It seemed that I had passed my station. When I opened my bag to look for my map, I discovered that my wallet was gone. [62 words]

解説

- This composition should be narrated in the past. The past progressive is useful here, to explain what you *were doing* when the theft occurred.
- Below are some examples of how to use various forms of the word *sleep*, and other expression related to sleeping:
 - Please be quiet. The baby is sleeping. ○
 - Please be quiet. The baby is asleep. ○
 - The noise woke up the sleeping baby. ○
 - The noise woke up the asleep baby. ×
 - I soon fell asleep. ○
 - The accident happened because the driver of the train fell asleep. ○
 - I fell sleepy. ×
 - The sleepy children were sent to bed. ○
 - I usually go to sleep around midnight. ○
 - I get up late on Sundays. ○
 - I was late for school because I overslept. ○
 - Sorry I'm late. I overslept. ○
 - Sorry I'm late. I slept over. ×
 - I missed the last train, so I slept over at my friend's house. ○
 - I slept for two hours. ○
 - I drank a cup of coffee because I felt a little sleepy. ○
- *To wake up* is more commonly used than the more formal *to awake*.
- *To nod off*, as used in the model answer, means to fall asleep unintentionally while sitting up, like you might do on a train or, God forbid, in class.